

比良比叡トレイルを案内・解説する「ガイドの育成」

滋賀県「やまの健康」推進プロジェクトの補助金を受けて比良比叡トレイル協議会がすすめる事業です

「やまで健康になる やまを健康にする」

令和3年10月から令和3年12月まで3回の研修会を実施しました

ガイドが解説するテーマは「祈りの道」 歴史・文化・自然・環境を勉強しながら歩きます

山を歩いて健康になろう 健康な山にしよう

研修1 比叡山コース（令和3年10月）

(1) ルート 比叡山東塔大講堂⇒根本中堂⇒弁慶水⇒浄土院⇒ 西塔 ⇒
法華堂-常行堂⇒釈迦堂⇒玉体杉⇒横川

(2) 学習したこと ・何故世界遺産に選ばれたか ・比叡山の道を歩くと足裏で
大地を感じ踏みしめる ・比叡山の固有の植物 滋賀森林インストラクター会



浄土院とシャラノキ

伝教大師最澄が入滅して1200年。日本仏教の母山として数多くの名僧を輩出した比叡山は世界文化遺産。十二年籠山行や千日回峰行など厳しい修行が今も行われている。東堂・西塔・横川の三地域からなり、東塔は最澄が最初に草案を結んだ地、根本中から西塔へ、最澄の廟の浄土院や釈迦堂、そして数多の僧がでた横川へ。

研修2 比良山地コース（令和3年11月）

(1) ルート

葛川坊村 ⇒ 葛川明王院 ⇒ 三の滝⇒牛コバ⇒往復して坊村へ

(2) 学習したこと ・比良山地西部の溪流沿いの植物

・明王院の歴史と三の滝の意味 講師は滋賀森林インストラクター会



植物の解説を受ける

比叡山の明王堂を離れ、いま葛川明王院と呼ばれるお堂で修行をしていた明応和尚は溪流を登り滝の中に現れた不動明王に会う、いまの三の滝、これが千日回峰行の始まりと言われる。平安時代には比良山地にも多くに寺院が建てられた。奈良時代の山岳信仰のあと、最澄がおこした天台宗に関わる寺院のあとが打見山の寺屋敷跡など比良山地に数々ある寺院は比良三千坊と呼ばれた。

研修3 仰木コース（令和3年12月）

(1) ルート

覚性律庵⇒小椋神社 ⇒ 辻が下地藏堂 ⇒ 元三大師道標 ⇒
上仰木共同墓地 ⇒ 滝壺神社 ⇒ 御所の山

(2) 学習したこと 木地師の歴史と小椋神社の関係 ・仰木集落の歴史文化
講師は成安造形大学加藤賢治教授



清和源氏源満仲の御所あと

仰木(おうぎ)は比叡山の北の山麓、美しい棚田のある里山の集落。歴史は1350年前に遡ると言われ、小椋神社をはじめ多数の社寺1000体もの地藏さんやいくつかの重要文化財が点在し、比叡山 横川への上り口。集落を西へ登ると比良比叡トレイルの仰木峠へ、そして三千院のある京都一周トレイルの大原へつながる。

研修4 屋内研修（令和4年1月は延期）① 比良山地の歴史・地形・植物などについて、昭文社の「山と高原地図 比良山系」を読む。② 安全な山歩き・安全登山についての講義を延期した。